

2012年 環境活動目標・実績の取組結果とその評価

2012年12月27日 環境管理責任者 白井 佳子

	目 標	結 果	実 施 状 況	評 価	原 因	改 善 策
地球温暖化防止への取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気使用量 2011年比1%減 電灯 10,107kwh エアコン 5,541kwh 合計 15,648kwh</li> <li>ガソリン使用量 2010年実績を維持 828L</li> <li>二酸化炭素排出量 7660.8kg-CO<sub>2</sub> (2011年実績)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気使用量実績 2011年比0.25%減 電灯 9,479kwh エアコン 6,289kwh 合計 15,768kwh</li> <li>ガソリン使用量実績 2011年比21%減 768L</li> <li>二酸化炭素排出量実績 9178.2kg-CO<sub>2</sub></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して空調温度管理を徹底(夏28℃/冬21℃)</li> <li>昼休み(12:00~13:00)事務所内消灯の徹底</li> <li>クールビズの早期開始・終了延長(5/16~10/15)</li> <li>週休2日制導入</li> <li>担当変更等により出張先距離の減少</li> <li>効率の良いルートでの外出・関与先訪問</li> <li>自動集金率向上により訪問集金が減少(全体の7割)</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>空調の温度管理をさらに徹底</li> <li>クールビズを延長することにより、職員の意識向上により維持できた</li> <li>自動集金率向上により訪問による集金が抑えられた</li> <li>内部体制変更等により担当変更があり出張距離数が減少</li> <li>使用量は減少したがCO<sub>2</sub>排出係数が上がったため増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クールビズの推進・延長</li> <li>屋内・屋外の気温測定</li> <li>空調温度の管理の再徹底(夏28℃/冬21℃)</li> <li>引続き業務効率化をはかり使用量削減を目指す</li> <li>6月~12月は月2回のノ残業デーを実施(2012年は月1回)</li> <li>引続き効率的なルートで外出・関与先訪問を心掛ける</li> </ul>
地球資源の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物量 2011年比1%減 処分 236.0kg リサイクル 204.0kg 合計 440kg</li> <li>紙使用量 2011年比1%減 296kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物量実績 2011年比1.35%減 処分 157.6kg リサイクル 280.5kg 合計 438kg</li> <li>紙使用量実績 2011年比1.94%増 305.0kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通し資源ゴミ買い取業者を利用することにより廃棄物の分別の意識向上</li> <li>不要商品カタログを引取ってもらった</li> <li>両面コピーや裏紙使用の徹底(電子申告による紙量削減は大きい確認事項が多いためデータ送信の前にプリントアウトして確認しているのが現状)</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源ゴミ買い取業者利用によりシュレッダーゴミがリサイクルゴミ扱いとなり、廃棄物処分量が減少(34%減)</li> <li>備品購入先の不要な商品カタログ引取サービスを利用</li> <li>引続き職員が飲むお茶を粉茶にして生ゴミを減少</li> <li>紙使用量は、扱う資料も機密的なものも多くコピーをとる必要もあり、減少は難しいが現状維持を心掛ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙類は、シュレッダーを利用して極力資源ゴミとしていく</li> <li>不要なDMやカタログの返却・拒否</li> <li>引続き職員は生ゴミ削減のため粉茶を使う</li> <li>ペーパーレス業務の推進</li> <li>パソコンからの不要なプリントアウトを控える</li> <li>裏紙使用・両面コピー再徹底</li> </ul>
環境意識向上と情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページにてエコアクションの情報を発信</li> <li>グリーン商品購入の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各職員が内容を考え発信している</li> <li>テーマを更に掘り下げ、とても分かりやすい内容になった</li> <li>グリーン商品購入金額の割合 月平均64%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各職員が再生可能エネルギーをテーマに絞り簡単に紹介</li> <li>備品購入総額の内グリーン商品購入の割合を初めて算出</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>テーマを更に掘り下げたことにより職員個人の視野も広げることができた</li> <li>購入先業者が毎月購入実績を知らせてくれるサービスを利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページをさらに活用し環境情報を発信していく</li> <li>全員参加を目標とする</li> <li>今後もこのような環境を考えたサービスを活用していきたい</li> </ul>

購入電力の二酸化炭素排出係数は、環境省発表(平成24年11月6日公表)平成23年度中部電力の実排出係数を適用